

加古川の工芸作家山崎さん

小野で作品展、100点紹介



表情豊かな竜の土人形と、作者の山崎幸さん―小野市榎山町

表情豊か 竜の土人形

小野市榎山町の喫茶アートギャラリー「風の森」で、工芸作家山崎幸さん(68)＝加古川市志方町上富木＝の作品展が開かれている。「笑顔につられて福が来る」と題し、千支の竜の土人形や帆布バッグなど約100点を展示。30日まで。

山崎さんは「人に喜んでもらうには自分が楽しまないと」を信条に創作する。**兵庫女子短大(現兵庫大短期大学部)**で専攻したデザインを生かし、加古川の河原で拾った石ころに笑顔の地蔵を描いていた。義母を介護する中「笑顔の地蔵を描くと母に優しく接することができた」と振り返る。土人形やアクセサリなど創作の幅を広げた。

人形作りには信楽の土を用い、倉庫の電気窯で焼く。700

～800度で素焼きしてから、1050度の高温にして仕上げる。「アクリル絵の具がはじかれずに残るぎりぎりの温度。丈夫で長持ちする」と話す。

竜の人形は真ん丸の目玉に大きな鼻、牙の間から赤い舌を突き出して愛嬌たっぷり。金色の玉を抱える人形もある。おなかには「福」「笑」などの文字を入れた。

会場には辰年の手描きカレンダーや手すき和紙の壁かけも。戦争や地震など暗い話題が相次ぐだけに山崎さんは「明るく楽しい1年に」と願う。

午前9時～午後6時(午前11時～正午はランチ準備で入店不可、30日は午後3時まで)。風の森☎0794・62・0478

(坂本 勝)